

K220.29

2

6

29  
8  
161  
函架號冊

富士谷孝雄講

K-220.29  
2  
6

中等  
教育  
如氏地理教科書

東京  
内田老鶴圃

W220973/12

理學士富士谷孝雄講述



中等  
教育  
如  
氏地理教科書



東京

内田老鶴圃

東京  
 由國光覽圖  
 卷之二  
 地理教科書第三帙第二卷下  
 目録

中等教育如氏地理教科書第三帙第二卷下

目録

(一) 目録

二 羅馬諸州

一 佛蘭西國記……………一五丁

    伊比利亞半島……………一五丁

二 西班牙國記……………二二丁

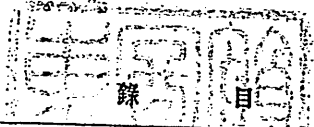
三 葡萄牙國記……………二八丁

四 伊太利國記……………三二丁

五 希臘國記……………四六丁

六 羅馬尼亞國記……………五六丁

三 斯羅本諸州……………六一丁



(二)

波爾汗半島記……………六一丁

一 世爾維亞國記……………七二丁

二 門的捏具路國記……………七四丁

三 保斯尼亞及邊爾坵吳維尼亞國記……………七五丁

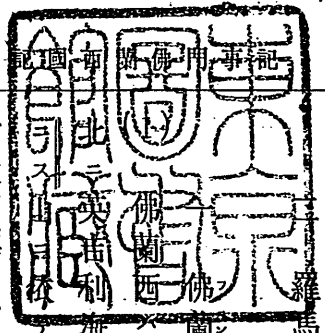
歐洲土耳其……………七七丁

四 貌爾牙利亞及東羅宇墨利亞國記……………七七丁

五 土耳其本領記……………八〇丁

六 歐洲露西亞國記……………八五丁

№220973/22



羅馬諸州



較著ナレハ佛蘭西、西班牙、  
及ビ羅馬尼亞ノ諸國トス

西北隅ニ位セルモノニシテ、



中等如氏地理教科書第三帙第二卷下

理學士 富士谷孝雄 講述



地勢 (一)

(2) 地勢、セヴン山東南ニ起リ、コト、ド、オル及ビラン

伊太利、瑞西、日耳曼及ビ白耳義ノ國境ニ接ス、面積二十  
萬四千方哩、東西或ハ南北ノ長サ六百哩トス、

グレン高原ヲ追テ北走ス、其東方ニヴスゲス山アリ、而シテ兩山脈間ニローン河南流シテ地中海ニ入ル、然リ而シテ前陳山峯又小脈ヲ爲シテ、更ニ西方及ビ北方ニ波及ス、故ニ太西洋英吉利海峽或ハ北海ニ朝スル川河アリ、

歐洲ノ最高峯モンブラン(高サ一五、七七七呎)ハ佛國內ニアリ、伊國及ビ瑞西國トノ境界ニ起ル、ピレニス連峯ノ最高嶺ピク、ド、チトウ(高サ一一、一六八呎)ハ西班牙トノ境界ニアリ、中央ニハアウヴェルン火山地方ニモンドール聳立シ、高サ六千八百八十呎ニ達ス、佛蘭西ノ低地ハ太西洋瀕及ビ地中海岸ニアリ、和蘭若クハ白耳義ノ低地ノ如ク平坦

河川

ナラズ、其間丘阜伏起ス、

(3) 川河、主要ノ川河ハ皆西北流ス、舟楫ノ便アルモノハ左ノ如シ、ガロン河ハピレニス山中ヨリ出テ、西北流シ、ジロンド灣ニ至リ海ニ入リ、ロアル河ハ佛國ノ最長川ニシテセヴン山中ニ起リ、國ノ中央ヲ蜿蜒流シテ、ナントスニ到リ海ニ注グ、セイイン河ハコト、ド、オル山中ニ源ヲ發シ、西北流シテ英吉利海峽ニ入ル、ミウス河ハ源ヲヴスゲス山中ニ發シ、和蘭ニ入り、ライイン河ト連續シテ海ニ朝ス、前陳諸川ハ佛國ノ運漕路トシテ、極メテ緊要ナリ、而シテ諸川ノ舟行シ得ルノ距離ハ總計五千五百哩トス、又曰クローンハ大川タリト雖モ、稍急流ナル

氣候

ヲ以テ、舟行ノ便ナシ、

運河百五十哩アリ、諸川ヲ接続ス、今其著名ナルヲ舉グレ  
ハマルンライオン運河(最長ニシテライオン及ビマルンノ兩  
川ヲ接続スルモノ)及ビミデ運河(カロンノ上流ヲシテリ  
ナン海ト接続スルモノナレバ、即チ大西洋及ビ地中海ヲ  
接続スルモノナリ)ナリ、

(4) 氣候、佛蘭西ハ歐洲ノ中帶ニアルヲ以テ、其氣候  
ノ期清タルハ大陸ニ冠タリ、而シテ東北ニハ稍大陸氣  
候ヲ顯シ、西北ニハ沿岸氣候ヲ有ス、南方ニハ亞非利加  
ノ熱風時々來襲シ、ローン溪ニハアルプス山ノ寒風時  
ニ或ハ颶ヲ起ス、

今物産ノ異同ヲ辨ゼンニセザン山ノ東南ヨリローン河  
溪ニハ橄欖生シ、ガロン河口ヨリストラスブルグニ一線  
ヲ畫スレバ、之ヲ以テ玉蜀黍產地ノ南界ヲ定ムヲ得ベク、  
北緯四十七度ヲ以テ葡萄產地ノ北界ト爲スベク、而シテ  
其西北ヲ即チ小麥產地ト稱スベシ、

(5) ビレニス、ランド或ハヴァス、諸山ノ赭地ヲ除ク  
ノ外、國內概ネ耕作ニ適スルノ地タリ、又曰ク佛國ハ極  
メテ森林ニ富シ國タリシガ、前二百年間ニ大ニ濫伐セ  
シヲ以テ、山林著シク減少セシト雖モ、輓近ニ至リ之ヲ  
恢復スルヲ勤メテ怠ラズ、

今日ノ調査ヲ以テ視レバ、全國八分一ハ森林ニシテ、其範

園最大ナルヲ巴里及ピロアル河間ノオリアンズ並ニフ  
 ンテンブロウノ森林、東南ノヴァル山林、及ビシヨラ並ニヴヌス  
 ケスノ山林トス、ローン河溪ノヴァウクルスニハ檜繁茂シ、  
 多ク菌ヲ生ス、ブリタニノ西部ハ緒地タリト雖モ、アウヴァ  
 ルン、セヴン、ピレニス、アルプス等ニハ造林盛ニ行ハル、葡  
 萄ハ西北ノ諸縣ヲ除クノ外、諸所ニ培養ス、其種類千四百  
 ニ超過スト云フ、而シテ東方ノシアンペイン並ニバルガン  
 テ、葡萄及ビ西南ノシロンド河溪、葡萄ヲ以テ最佳品トス、  
 北部ニハ小麦、麻及ビ甘菜アリ、東南隅ニハ橄欖ヲ産ス、林  
 檜ハノルマンデ、ニ廣ク培養シ、橙、柑、及ビ柘榴ハ地中海瀕  
 ニ生ス、牛馬羊羚ノ牧養盛ナラズ、野獸ニハ熊、狼、狐、及ビ猪

國民

アリ、  
 (6) 國民、南方ニハ羅馬人、イベリア及ビ「ケルト」人ト  
 混合シテ、深色矮小活潑ノ人ヲ來セリ、之ヲ今日ノ南方  
 佛人トス、而シテ北方ニハ多少日耳曼人ノ原素ヲ混ズ  
 ルヲ以テ、此地ノ佛人ハ丈高ク、綠眼ニシテ、其性質南方  
 人ノ如ク輕躁ナラズ、人種ノ別如斯クナルヲ以テ、國語  
 モ自ラ南北ノ兩派ニ別ル、而シテ其間幾多ノ鄉語アリ、  
 「ケルト」人ノ純粹ナルハブリタニアニ多ク、西ピレニアノ  
 「パスク」人ハ全ク「イベリア」人タリ、而シテ東南ニハ伊國人、  
 白耳義國境ニハ「フレミング」人アルサス、ローレンノ邊ニ  
 ハ日耳曼人多シ、總人口凡三千六百萬餘、而シテ佛國タル

ヤ善良ノ國民ヲ有スト雖モ其増加ノ度ニ至リテハ他歐洲諸邦ノ如ク較著ナラストス、

(7) 宗教、教育、佛國ハ羅馬加特力教國タリ、布勒的斯丹德教ヲ信スル者僅少ニシテ、其信者多ク西南ニ居ル、國民ノ教育ハ政府之ヲ監督シ、其一部ハ之ヲ僧侶ニ委ヌ、千八百七十二年ノ調査ニ依ルニ、丁年者ニシテ讀書シ得ザルモノ全數三分一ニ超過セリ、然レドモ教育進歩ノ度ハ地方ニ從フテ、大ニ其赴キヲ異ニシ、東北ニ最モ盛ニシテ、西方ニ極メテ萎縮ノ狀ヲ呈ス、

佛國大學ハ各府ニ支發ヲ有スルモノニシテ、文學、理學、法學、神學並ニ醫學ノ高等科ヲ授クル所タリ、佛語ハ其語勢

優美ナルヲ以テ、歐洲ノ上等社會ニ廣ク行ハレ、其文學モ亦諸人ノ好修スル所タリ、夫レ然リ、然リト雖モ佛國ガ文明社會ノ上流ニ向テ、其勢力ヲ逞フスルハ、其實佛語ノ優美、佛文ノ快活ナルニ非スシテ、其首府巴里ノ新樣能ク貴顕紳士ヲ籠絡スルニアラソカ、  
勇壯、銳敏ニシテ而モ活潑ナルハ佛人ノ通性タリ、然レドモ亦輕躁、浮薄ニシテ、禮節ヲ好ムノ嫌ナキニ非ズ、之佛人ガ深ク日耳曼ニ反スルノ點タリ、

(8) 產業、貿易、佛國人ハ主ニ農業及ビ牧畜ニ從事ス、農産ハ葡萄及ビ葡萄酒ヲ以テ最モ較著ナルモノトス、  
「シャンペイン」酒ノ釀造ハセイム及ビシタロン、スル、マルン



中央トシ「バルガンディ」葡萄酒ハ主ニ「ディジヤン」ニ製シ、  
「ラント」ハ西南ノ「ボルドウ」ニ造ルナリ葡萄酒醸造ノ副  
産物ニ耐及ビ「ブランドイ」アリ、其石量良ニ少々ニ非ズト  
ス、

織物業ハ佛國工業中最モ主要ナルモノタリ、里昂<sup>リオン</sup>ハ佛國  
第二ノ都府ニシテ、人口三十四萬餘ヲ有シ、絹布製造ノ中  
央タリ、サオン及ピロイン兩河ノ合スル所ニ位ス、聖エテ  
ンハ里昂ノ西南ニアリ、人口十二萬六千餘ヲ有ス、綿布製  
造上第二ノ地位ニ居ル、而シテ之ニ次クハロイン河口ノ  
ナイム、ロアル、河邊ノトリル及ピバ里府是ナリ、南方ニ於  
ケル内地貿易並ニ工業ハガロン河邊ノトリロウ(人口一三

一、〇〇〇餘)及ピロイン河口ノモントベリユニ集合シ、絨  
布、麻布並ニ綿布ノ製造ハ殆ド北方ノ地ニ限ルナリ、今製  
造場ヲ以テ著名ナル都市ヲ舉グレハリール(人口一六三、  
〇〇〇餘)其近傍ノルーベイ及ピトルコアン、其東南ノカ  
ムブレイ、ドアイ、ヴァレンシエン及ピ聖クエンテン、セイ  
ン、シランペイン州ノレイム、アルデン河岸ノセマン、佛領ロ  
ーレンノナンシ等ナリ、又サルテ河岸ノル、アン、ロアル河  
岸ノアンゼル、其西北ノレーンハ南部ニ於テ絨布並ニ綿  
布ノ製造ヲ以テ知ラル、巴里ニ於テハ専ラ貴重ノ絨布ヲ  
製スルノミ、

セーヴルハ磁器ノ製造ヲ以テ最モ著名ニシテ、之ニ次グ  
ハウイエン河岸ノリモゲタリ、玻璃ノ製造ハ北部ニ盛ナリ、  
巴里ニモ亦佳美ノ玻璃器ヲ製ス、瑞西國境ノベサンソン  
ハ時辰器ヲ製スルコト多シ、

(9) 鑛山業モ亦盛ナリ、石炭ハロアル及ビローン兩河ノ  
上流ヨリ、北白耳義ニ達ス、而シテ年々ノ探出千七百萬噸  
ニ下ラズト雖モ、尙國ノ需用ヲ充スニ足ラザルヲ以テ、多  
ク白耳義、日耳曼並ニ英國ヨリ輸入ス、鑛ハ十一州ニ産シ、  
其質モ亦善良ナリト雖モ、鑛產地ニ薪炭乏シキヲ以テ、精  
鑛ヲ外國ヨリ輸入スルノ量少ナカラズ、里昂西南ノ聖エ  
テ、ローンハ大砲及ビ機械ノ製造ヲ以テ著名ニ、又石炭產地

中央ノル、クレツニモ亦有名ノ製鑛所アリ、

(10) 佛國ノ貿易ハ唯英國及ビ合衆國ノ兩國ニ一步ヲ讓  
ルマデニシテ、極メテ繁昌ノ勢アリ、之ヲ地勢ニ徴スルニ  
三方ハ往來頻繁ノ海ニ面スルノミナラズ、鑛道亦一萬四  
千哩ニ達シ、之ガ交通ヲ助クルナリ、海港ノ緊要ナルヲ舉  
グレバ地中海ニ馬耳塞(人口三二〇、〇〇〇餘)ピスケイ灣  
ニボルドウ(人口二一五、〇〇〇餘)及ビナンテス、英吉利海  
峽ニハーヴル(人口九二、〇〇〇餘)ブロン、カレイイ及ビマン  
ガルリアリ、而シテ前陳ノ諸港ハ皆歐洲首府ノ首府タル  
巴里ニ屬スト云フベシ、蓋シ人口(二、二二六、〇〇〇)上ヨリ  
云ヘバ巴里ハ倫頓ニ劣ルト雖モ、其風俗ノ華美、其家屋ノ

分政體、  
劃

書科教理地氏如

(四一)

(11) 偉壯ニ至リテハ、誠ニ天下ノ大都ト稱スルノ外ナシ、  
 佛國ノ軍港ヲ舉グレバ、西北岸ニセルブルグ及ビアレ  
 レストアリ、ビスケイ灣ニロリエント及ビロチフォルトア  
 リ、地中海岸ニトロンアリ、ニス及ビケーンハ冬日人ノ好  
 テ輻湊スル所タリ、佛國ニハ壘營百有餘アリ、北方及ビ東  
 北境ノ市村ノ如キハ皆兵營ト稱シテ可ナリ、ブリアンソ  
 ンハモン、セニス險ノ南ニアリ、佛國城ヲ築テ此險ヲ守  
 ル、親ラ謂ラシ之不拔ノ壘タリト、

(12) 政體、分劃、佛國ノ政體ハ屢變更セシ所タリ、而シ  
 テ今日ハ共和政ヲ以テ國ヲ建ツ、現行憲法ハ千八百七  
 十五年ヲ以テ制定セシモノニシテ、之ニ依リ、立法權ヲ

廣  
 袤  
 (五一) 記國亞利比伊門事記

國會及ビ元老院ニ置キ、行政權ハ大統領之ヲ掌握シ、責  
 任内閣之ニ參與ス、  
 革命以前ハ國內ヲ分テ州トセシガ、今日ハ之ヲ八十七  
 縣ニ分劃ス、  
 伊比利亞半島  
 最初伊比利亞全体ノ風土並ニ人口ヲ論シ、後ニ本半島  
 ニ建國セル西班牙及ビ葡萄牙兩國ノ叙事ニ及ブベシ、  
 (1) 廣袤、伊比利亞半島ハ歐洲ノ西南隅ニアリ、其概  
 形四方形ニシテ東西或ハ南北ノ長サ凡五百哩、面積二  
 十二萬八千方哩餘トス、故ニ英國ニ四倍シ、又日耳曼帝  
 國或ハ佛蘭西ヨリ大ナリ、

(2) 地勢 半島ノ全体高原或ハ山村ニシテ、深山幽溪ニ連リ、殆ド其盡ル所ヲ見ズ、其峻峯ニ至リテモ亦歐洲ニ魁タルモノアリ、

伊比利亞半島ニ東西ニ横ハル五流ノ山脈アリ、最北ナルハビレニス(高サ一一、一六八呎)及ビカソタプリア(八、七四〇呎)ノ連峯ニシテ、其餘波西ノ方フニステル岬ニ達ス、第二ハエプロ及ビドゥエロ兩河間ニ隆起セルグアダラマ、グレド、ガタ、及ヒエストレラノ諸嶺ニシテ、ロラ岬ニ到ル、第三ハタグス及ビグアダリア兩河間ニアルトレド、グアダルプ並ニマメドノ諸峯ナリ、第四ハモレナ及ビモンチクノ連峯ニシテ、東ナチ岬ヨリ西ウキンセント岬ニ達ス、ナラ

岬ノ東方ニ三島アリ、イヅガ、マシアルカ及ビミノルカト稱ス、共ニモレナ連峯ノ餘波ト看做シテ可ナリ、第五ハ即チ地中海ニ對峙スルモノニシテ、之ヲシーラ、チヅダト稱ス、其高峯一一、六六一呎ニ達シ、東南ガタ及ビパロ岬ヨリ南端ノトラファルガル、タリファ、及ビソブラタルニ至ル、之ヲ最南ノ山脈トス、

半島ノ過半ハ赭地ノ高原ニシテ、カンタブリア及ビグアダラマノ兩山間ニアルチ舊城及ビレオンノ高原ト稱シ、グアダラマ及ビマレナ間ナルチ新城及ビエストレマドラノ高原ト云フ、前者上ニヴァラドリド府アリ、後者ハマドリド府ヲ載ス、

(5) 氣候地形、伊比利亞半島ハ廣袤大ニシテ、土地ノ高低亦様々ナレバ、氣候ノ地方ニ從フテ異ナルハ、固ヨリ論ヲ俟タズ、而シテ其東南端ニアリテハ、殆ド熱帶ノ氣候アルモ、北方ハ大氣頗ル寒冷ナリ、

西北ノ沿岸地ハ氣候濕潤ニシテ、霧深ク、雨多シ、マイムプヲノ如キハ一年ノ雨量一八吋ニ達ス、此地亦冬間長ク、寒風屢冠雪ノ嶺峯ヨリ吹下ス、其地形ヲ云ヘバ丘陵溪谷ト相隣シ、其間河水溶々トシテ流ル、川ニ魚鼈多シ、高地ニハ松柏アリ、低地ニハ栗樹及ビ林檎ヲ産ス、穀物葡萄等ハ廣ク之ヲ培作ス、中央ハ地ノ高原ニシテ、山林其間ニ交ハル、氣候亦清明ナリ、然レドモ冬間ハ寒風赭地ノ高原ヨリ

來襲シ、夏日此地ノ熱セラルト最モ甚シトス、馬德里府近傍ニハ、冬間川河堅氷ノ封鎖スル所タルモ、夏日ハ新城高原一帶ノ沙漠ノ如シ、高原ノ低部ニハ穀物、葡萄及ビ橄欖樹アリ、又高原ヲ降り、南方ニ至レバ、氣候熱帶地方ノ如ク、森林鬱蒼トシテ、春秋共ニ快清タリ、但夏日ノ熱ハ殆ド堪ユルベカラズ、此地ノ特産ハ橙、棗、椰子、甘蔗、綿及ビ米トス、葡萄牙ハ瀕海國タルヲ以テ、内地ノ如ク夏日酷熱ナラズ、而シテ冬分ニハ北方ノ連峯ニ降雪スルヲ屢ナリ、春ハ年始ト共ニ來リ、作物ノ收穫ハ中夏ヲ以テ之ヲ終ユ、

(6) 北方及ビ中央ノ山地ニハ鹿、熊、狼及ビ山羊等アリ、蠟ハエプロ河領ニ多シ、野羊ハ南方ノ山中ニ出沒ス、シブラ

人種

如氏地理教科書 (〇二)

ルタルニハ巴爾巴利猿アリ、火鶴ハグアダルクイブル下流ニ多ク、變色蜥蜴ハマラガノ近傍ニ棲息ス、

(7) 人種 半島ノ土苗ハ伊比利亞人ナリト雖モ、ケルト人、フニシア人、羅馬人、日耳曼人、ムア人等交來襲シ、之

ト雜混セシヲ以テ、大ニ其性質ヲ變更セリ、半島ノ總人口凡二千百萬、

「イベリア」人ノ子孫ハカンタブリア山中ニ居ル勇悍獨立ノ「パスク」人はナリ、其數凡五十萬、「ゴス」人ノ後裔ハドゥエル河南ノ山中ニアリ、亞良比亞人ノ血統ハ南方及ビ東方沿岸地ノ住民ニ存ス、羅馬人ハ即チ伊比利亞半島ニ國語ヲ與ヘシモノニシテ、西班牙語及ビ葡萄牙語皆其一派ヲ

宗教々育

記事伊比利亞國 (一)

(8) 宗教、教育、 西班牙及ビ葡萄牙ノ兩國ハ昔日歐洲

ニ屈指ノ強國タリシガ、國勢次第ニ衰へ、一時ハ殆ド廢亡ノ秋ニ迫レリ、然ルニ今日ハ國勢復將ニ振起セントス、即チ教育及ビ産業ノ如キ大ニ其面目ヲ改メ、駸々日々ニ盛隆ニ赴クノ徵アリ、然リト雖モ國民ノ過半ハ今尙頑固ニシテ、無學ナリ、羅馬加特力教ヲ以テ國教トシ、他宗人ヲ視ルコト恰モ讎敵ノ如シトス、西班牙ノ大學ハ馬德里、サンテアゴバルセロナ、グラナダ、セヴル、ヴァレンシア、ヴァラドリド、オヴエド、サラマンカ及ビサラゴサノ十府ニアリ、葡萄牙ハマイムブラニ大學ヲ有ス、

二 西班牙國記

(9) 西班牙王國ハ伊比利亞半島ノ東南ヲ占メ、面積十  
九萬三千方哩、人口凡七百五十萬ヲ有ス、葡萄牙トノ境  
界ハ人爲ヲ以テ劃定セシモノニシテ、炮台ヲ築イテ相  
互ノ侵喰ヲ守ルナリ、佛蘭西ニ通セルピレニス山路ノ  
主要ナルハバムプロナ及ビゼロナノ險トス、

(10) 政體、西班牙ハ立憲王國ニシテ、現行憲法ハ千八  
百七十六年ニ裁定セシ所タリ、行政權ハ國王及ビ責任  
內閣ニアリ、立法權ハ國王及ビ上下ノ兩議院ニ委ヌ、  
行政上國ヲ四十九州ニ分ツ、各州皆地方行政權ヲ有ス、  
(11) 物産、産業、西班牙ハ農國タリ、東方ノヴレンシア

及ビカタロニア北方ノガリシア、アストリアス及ビバ  
スク地方ハ農業ノ中央トス、アングダルシアハ葡萄ノ産  
ヲ以テ最モ著名ナリ、乾葡萄ハ主ニアラブ、アリカント  
及ビヴレンシアニ製ス、西北ノ地ハ多ク林檎ヲ出シ、橙  
無花果及ビ扁桃ハ地中海沿岸ニ産シ、バルセロナ、ナット  
ハ廣クカタロニア及ビアストリアニ培養ス、アングダル  
シア駿馬ヲ産ス、其馬半島中ニ魁タリ、騾モ亦較著ナル  
モノトス、グアドラス及ビナヴァール産ノ野牛ハ闘牛上  
大ニ貴重スル所タリ、蓋シ闘牛ハ西班牙人ノ一般ニ愛  
顧スル所ニシテ、年々之ガ爲メニ三四千頭ノ馬ヲ刺殺  
ス、牧畜ニハ飼羊業第一位ニアリ、養蠶ハヴレンシア及

ビムルシアニ專ラ行ハル、南部ニハ農民程々虫ヲ飼養ス、ガリシア、カデイツ及ビヴァレンシアノ漁業モ亦緊要ノ産業タリ、

山林ノ濫伐極メテ甚シカリシヲ以テ、西班牙政府輓近意ヲ此ニ注ギ、ヱイラウシニ森林學校ヲ置テ、大ニ森林ノ保存ヲ勤ムルニ至レリ、之ヲ今日ノ調査ニ徴スルニ、全面積五分一ハ森林ニシテ其樹ニハ松柏最モ多シ、西班牙ハ礦物ノ富ヲ以テ、歐洲ニ冠タリ、其緊要ナルハアルマデンノ水銀鑛及ビリヲ、テントノ銅鑛トス、鎮ハ所々ニ産ス、然レドモ其產地ノ著名ナルハビスケイ、アストリ、ムルシア及ビグラナダトス、石炭亦各州ニ産ス、

工業、  
都市

唯國內交通ノ便宜シカラザルヲ以テ、英國及ビ白耳義ヨリ石炭ヲ輸入スルコト少ナカラズ、食鹽ハ岩鹽及ビ海鹽ノ兩者ヨリ製ス、

(12) 工業、都市 西班牙ハ輓近大ニ工業ノ進歩ヲ來セシト雖モ、之ヲ他歐洲諸國ニ比スレバ、遙カニ其後ニアリ、以是多ク外國製品ヲ輸入ス、而シテ其生糸ハ主ニ佛國ニ輸出シ、メリノ羊毛ハ英國ニ送致ス、

綿糸紡績ハクタクロニアノバルセロナ府並ニタラゴナ府ニ集合ス、バルセロナハ工業ヲ以テ有名ナル都府ニシテ人口廿五萬餘ヲ有ス、紙ハ主ニバルセロナ及ビゼロナニ製ス、製鍊所ハバルセロナニ最モ多ク、又アストリアスノ



ビルバチハ磁鏡鑛及ビ石炭ヲ産スルノ頗ル巨量ニシテ、即チ西班牙政府ノ造兵廠ヲ置ク所アリ、トレドハ刀劍ノ煉製ヲ以テ昔ヨリ著名ナリ、煙草精製ハ政府ノ專有スル所ニシテ、其製造場セザル、馬德里、サンタンダル、ジションラ、コルナ、ヴァレンシア、及ビアリカントニアリ、コルドヴァニハ專ラ革ヲ製ス、又半島ノ南部ニハコルク樹多シ、其皮ヲ製シテ以テ塞子ヲ作ル、

(13) 貿易、西班牙ハ兩側海ニ面シ、又其沿岸幾多ノ良港ヲ有スルヲ以テ、其地位貿易ニ極メテ便ナリ、以是一反衰微セシ貿易モ、今日ニ至リテハ大ニ恢復ノ狀ヲ顯ハセリ、然リト雖モ、西班牙ノ關稅ハ之ヲ他國ニ比スル

ニ、大ニ重歛タリ故ニ、密輸入盛ニ行ハル、内國貿易ノ中心ハ馬德里府トス、其他商業ヲ以テ有名ナルハド、エロ河領ノヴァラドリド、バレンシア及ビブルゴスニシテ、皆北岸ノ津港ト交通ノ便アリ、シラネ、ヴダ山麓ノグラナダ及ビエブロ河岸ノガラゴザモ亦商市タリ、海港ノ緊要ナルニハ地中海岸ノヴァレンシア及ビアレカント、南岸ノマラガ及ビカデイツ、北岸ノサンタンデル及ビサシセバステアニアリ、又摩洛哥沿岸ノシウタ及ビメリラ港モ、西班牙ニ屬ス、

(14) 鐵道ハ四千哩ニ達シ、西班牙所屬ノ商船ハ其數三千ニ下ラズ、

(15) カタロニアノ北方ピレニス山中ニ安土羅ノ一小獨立國アリ、共和政ヲ以テ國ヲ立ツ、面積僅カニ百五十方哩、人口凡一萬二千ニシテ、六名ノ參與之カ政事ヲ司ル、有名ノシブラルクルハ千七百四年以來英國ニ屬ス、領地ノ長サ三哩海面ヲ抜ク四百呎、堅岩ヲ鑿テ、砲台ヲ構ヘ、精兵五千ノヲ置テ之ヲ守ル、領地ノ總人口ハ實ニ二萬五千餘タリ、

三 葡萄牙國記

葡萄牙ハ伊比利亞半島ノ西南ニ位シ、面積三萬四千六百方哩、人口四百三十五萬餘ヲ有ス、

(17) 政体 現行憲法ハ千八百二十六年ヲ以テ發布セ

シモノニシテ、之ニ據リテ王位ヲ世襲トシ、皇男、皇女共ニ之ヲ襲グヲ得、行政權ハ國王及ビ責任内閣ニアリ、立法權ハ上下ノ兩儀院ニ委ヌ、上院議員ハ國王ノ勅撰スル所ニシテ、下院ハ民撰議員ヲ以テ成ル、中央政府ハ首府リスボンニアリ、其人口二十萬餘、葡萄牙ノ最大府トス、

アゾアル及ビマデイラノ諸島ハ葡萄牙ガ本國ノ一部ト看做ス所タリ、

(18) 物産、産業 農業盛ナルノ地ハ唯北方ノミンホ及ビ南方ノアルガルヴトシ、其作物ノ主要ナルハ小麥、玉蜀黍及ビ大麥トス、葡萄ハ到ル所トシ産セザルハナシ、

然レドモドッロ河領ヲ以テ顯著ノ葡萄培養地トス、有名ノ「ポルト、ワイン」モ亦此地ニ造醸ス、橙、無花果、橄欖、栗等ノ産亦夥シ、近海ニハ漁業盛ナリ、

(19) 工業 各地皆麻布ヲ製ス、綿布ハ主ニオポルト及

ピリスボンニ製織シ、絨布ノ製織ハカステロ、ブランコ、

グアルダ、並ニリスボンニ盛ナリ、東北隅ノブラガンサ

ハ絹糸業ニ緊要ノ地方トス、

葡萄牙ハ英國トノ貿易ヲ以テ其外國貿易ノ最も主要

ナルモノトス、海港ノ緊要ナルハリスボン、及ビオポルトナリ、

(20) アツアル群島ハ大西洋外ニアリ、葡萄牙ヲ去ル凡八

百哩、其最も大ナルヲ聖マイケル島ト云フ、面積二百方哩、多ク橙及ビ「パイオン、アツアル」ヲ産ス、

(12) マデイラ島ハ風景ノ美、氣候ノ清朗ヲ以テ有名ナリ、

摩洛哥海岸ヲ去ル凡四百哩、葡萄、甘蔗、其他多ク熱帶地方

ノ植物ヲ産ス、

#### 四 伊太利國記

(1) 伊太利ハ瑞西ノ南方ヨリ、東南ニ延長セル一大半

島ニシテ、面積十一萬四千四百方哩アリ、又北瑞西ノ境

界ヨリ、南リウカ岬マデノ距離七百哩、北方低地ノ幅即

チ佛蘭西及ビ壤地利間ノ距離ハ三百哩ナルモ、半島平

均ノ幅ハ百哩ニ過ギズトス、

33頁

〜

48頁

欠

地勢 (二三)

如氏地理教科書

(2) 地勢 伊太利ノ北方、即チアルプス山ノ南麓ハ地  
 磬平低ニシテ、海面ヲ抜クヲ實ニ數尺ニ過ギズ此地昔  
 日アドリアテイク灣ノ一部タリシガ、ポー河ノ泥土次第  
 ニ堆積シ、竟ニ陸地タルニ至レリ、蓋シポー河ハ伊國唯  
 一ノ長川ニシテ、源ヲ西北隅ノ山間ニ發シ、東流シテア  
 ドリアテイク海ニ入ルモノナリ、河北ニアデアグ川アリ、同  
 シク東流シテ海ニ朝ス、

伊太利半島ハ其形長靴ノ如ク、而シテ其形ヲ爲スハア  
 ルプス山ノ一脈東南走シテ、本半島ニ入り、アペニス連  
 峯ト成リ、南スバルテ、ヴェント岬迄達スルニアリ、アペニ  
 ス山ノ最高峯ヲコルヴェスタ山ト云フ、高サ九八一〇呎、半島

地勢

記事門希臘國記

(九四)

ス、シラ、ナクソス、パロ、ミロ、アムルゴ、サントリン等ノ諸島  
アリ、又イオニアノ群島中ニアリテハ、コルフ、レウカデア、  
聖マウラ、イタカ、ケファロニア、ザント、セリゴ等ノ諸島ヲ以  
テ較著ノモントス、

(4) 地勢 地勢犬牙ノ如ク、奇峯怪嶽伏起シテ、瀾波ニ  
似タリ、以是海岸皆絶壁、其觀極メテ偉壯ナリ、然レドモ  
整然タル山脈ナク、唯俊嶺銳嶠ノ諸所ニ磐居スルノミ、  
而シテ其著名ナルヲ舉グレバテサリ連山ノオリムパ  
ス、或ハ其東派ニシ、テウロ灣頭ニ兀立セルオトリス  
山若クハ五峯山ノ如キ是ナリ、而シテモレアニ南走シ  
テ、二地角ヲ爲セルバルノ山ノ如キモ、亦著名ノモノ

タリ、

希蠟ノ最高峯ヲオリムパストス高サ九千七百五十呎、  
 然トシテエギアン海瀕ニ起ル、其近傍オッサ及ビペリチ  
 ノ兩峯アリ、前者ノ高サ五千二百五十呎、後者ハ五千百三  
 十呎ニ達ス、ピンダス連山ノ最高峯ハオリムパスニ及バ  
 ズト雖モ、尙八千二百四十呎ノ高キヲ致ス、之ヲキチナ峯  
 ト云フ、ルメリアノ中央ニアリ、其東南ニリアクラ峯(古史  
 ニ所謂ルバルナツサス峯)アリ、其高サ殆ドキチナ峯ニ均シ、  
 モレアノ最高峯ヲ聖エリアストス、中央地角ノ南端ニア  
 リ、而シテ又平原ニハピンダス連峯及ビ海岸間ノテサリ  
 平原、コリンヌ灣頭ノベラティア平原及ビコロヌ灣頭ノメ

セナ平原等ノ廣大ナルモノアリ、

(5) 川、河、國內峻嶒多ク、國ノ幅員亦大ナラザルヲ以  
 テ、川河概ネ短小ニシテ、舟楫ノ便キハ固ヨリ論ヲ俟ズ、  
 而シテ其水量ニ至リテハ、季節ニ從フテ、大ニ増減アリ、  
 舟楫ノ便ヲ有スル川唯一アリ、之ヲサラムブリアト云フ、  
 源ヲピンダス山中ニ發シ、テサリノ沃野ヲ過ギ、オリムパ  
 ス及ビオッサノ間ヲ流レテ海ニ朝ス、又其他ノ川ヲ述ベン  
 ニ、アスプロブタモ川ハエビラスヲ通過シ、パトラス灣頭  
 ニ至リ、海ニ入ル、マプロ川ハパルナサス山麓ニ起リ、東走  
 シテ、トボリアス湖ニ入ル、湖ノ幅十哩、地下ノ水道ニ依テ、  
 其水海ニ通ズ、但トボリアス湖ハ希蠟ノ最大湖ナリ、ルフ

人種

氣候

アハアルカティア灣ニ入ル、之モレアノ最長川タリ、其他モ  
レア東北ノ山中ニドラコ、チロ、スタイクス等ノ急流アリ、  
皆希臘人ノ畏敬シテ以テ、毒水トスル所タリ、

(6) 氣候、雪ハ唯俊嶺ニ兩三月間堆積スルノミ、夏日  
ハ天氣晴朗ニシテ、暑熱頗ル強ク、此季沿地ニ疫病ヲ發  
スルヲ屢ナリ、南方ニハ熱風往々亞非利加ヨリ來ル、然  
レドモ北風ハ寒冷風タリ、概シテ云ヘバ氣候溫和ニシ  
テ、健康ニ宜シ、

(7) 人種、希臘國ノ人民ハ舊希臘人ノ後裔ニシテ、丈  
高ク、肉瘦セ、鼻隆準ニシテ、頭髮黒ク、眼光炯々タリ、愛國  
心深ク、獨立ノ精神隆ナリ、國語ハ新希臘語ニシテ、舊希

宗教々

希臘トノ關係極メテ緻密ナリ、總人口百九十八萬餘  
(8) 宗教々、育、希臘人ハ過半希臘教ヲ奉ズ、然レドモ  
亦羅馬加特力教ヲ信ズル者多少アリ、而シテテサリニ  
ハ回々教信者多シ、

希臘ガ土耳其ノ虐政ヲ脱シテ、獨立セシハ蓋シ輓近ノ  
事タリ、而シテ今日ニアリテハ、國內靜謐ニシテ、産業ノ  
大ニ面目ヲ改メタリ、  
政府甚ラ普通教育ニ注意シ、即チ日耳曼國ノ法ニ則リ、  
子弟ニ普通教育ヲ授ルヲ以テ、父兄ノ義務トセリ、然レ  
ドモ改革日尙淺キヲ以テ、丁年者ノ半數ハ未ダ無學ノ  
徒タルヲ免レズ、千八百三十七年ヲ以テ、大學ヲ雅典府

(9) 政體 現行憲法ハ千八百六十四年ヲ以テ制定セシ所ニシテ、行政權ハ之ヲ國王及ビ責任内閣ニ委ネ、立法權ハ民撰ノ衆議院之ヲ掌司ス、

(10) 物産、産業、希蠟國ノ地耕耘ニ適スルモノ全面積ノ三分一ニ過ギズ、而シテ已ニ耕耨ヲ受ケタル所僅カニ其一半トス、

山腹ニハ森林多ク、狼、狐、野猪ノ類此ニ棲息ス、穀物ノ主要ナルヲ小麥及ビ大麥トス、然レドモ其供給未ダ充分ナラザルヲ以テ、外國ヨリ輸入スルモノ少ナカラズ、煙草ハテサリニ培養ス、葡萄園モ年々擴張スルノ勢アリ、然レドモ

葡萄酒釀造ノ法未ダ精ナラズ、養蠶業ハ盛ナリ、而シテ産業ノ最モ緊要ナルハ乾葡萄ノ製及ビ蜂蜜採收ニアリ、家畜ニハ馬及ビ羊アリ、礦産モ少ナカラズト雖モ、富盛ノ礦山ニ乏シ、鎮鎮セルフ、島ニ産シ、パロハ大理石ヲ以テ著名ナリ、ザントニ石油ヲ出ス、海瀕ノ民ハ主ニ漁業及ヒ航海ニ従事ス、

(11) 商業ノ中央ヲビレウストス、雅典ノ要港タリ、鎮道諸所ヨリ、此港ニ達ス、パトラスハ雅典灣ノ南涯ニアリ、モレアノ乾葡萄ヲ輸出スル所タリ、カラマタハコロソ灣頭ニアリ、生糸及ビ無花果ヲ輸出ス、其他ナウプリア、ウナロ、シラ等ハ皆貿易上緊要ノ地タリ、



(12) 雅典ハ國ノ首府ニシテ、人口六萬九千餘ヲ有ス、雅典  
灣ノ北瀕ニアリ、而シテアリロポリス、パルテノンノ舊跡、  
「ジニピタル、オリムパス」ノ堂宇、「テセウス」ノ巨院ノ如キハ、皆  
往時ノ隆盛ヲ追想スルニ足ルモノトス、

六 羅馬尼亞國記

(1) 羅馬尼亞ハダニウブ河ノ下流北岸ニ沿セル平地  
ニシテ、カルパテヤ山及ビトランシルヴァニア、アルプス  
山之ガ西北ノ國境ヲ爲シ、東ハブルト河ニ依テ、露西亞  
ト界ス、其面積五萬百七十方哩、第十六世紀ノ始メ、土耳  
其人ノ征服セシ所ニシテ、露軍再ビ此地ヲ收メ、土耳其  
人再度之ヲ占有セリ、於是乎北方ノ強國其勢力ヲ以テ、

之ヲ補翼シ、今日ニアリテハ、羅馬尼亞國モ亦自國ノ親  
王ヲ立テ、王ト爲スニ至レリ、千八百六十一年羅馬尼亞  
土耳其國王ノ許可ヲ得テ、ワラキヤ及ビモルダヴ<sup>#</sup>アノ  
兩州ヲ合併シテ、一國ト爲シ、千八百七十七年マデ、貢ヲ  
土耳其朝ニ入レ來リシガ、此時羅馬尼亞土耳其ノ軛ヲ  
脱シテ獨立國ト成リ、千八百七十八年ノ伯林條約ニ準  
テ、獨立國タルヲ認定セラレタリ、

(2) 地勢 國內ノ地勢概ネ平坦ニシテ、更ニ樹木ノ眼  
ヲ遮ルモノナシ、而シテ其北方ニアリテハ、トランシル  
ヴァニア、アルプス高ク、天外ニ聳ヘ、蒼々タル森林之ヲ覆  
壓ス、ダニウブ河口ニハ、ドブシ<sup>ラ</sup>ト稱スル高原アリ、雜

川河

草繁茂シテ沼地多シ之即チ有名ノ古戰場ニシテトラ  
ジヤン此ニ長城ヲ築テ北狄ノ侵撃ヲ防ギタリ、

(3) 川河 川河皆ダニウブノ本流ニ合ス源ヲカルバ

テア山ニ發スルアリ又或ハトランシルヴァニアアルプ

スニ湧出スダニウブ支流ノ主要ナルナプルトセレント

及ピアアルタトスプルトハ露國トノ境界ヲ爲スモノナ

リ千八百五十六年ノ巴里條約ニ準據シダニウブ河口

ノ航行ハ萬國聯合委員ノ監督スル所ト成レリ蓋シ此

委員ハ通港船舶ニ稅ヲ課シ此稅ヲ以テ河口浚渫掃除

費ニ充用ス又曰ク此委員ハ伯林條約ニ依テガラツ以

東ニハ地方ノ行政政府ニ關セズ獨立シテ職權ヲ執行ス

人種

政體

ル者ト成レリ但今日ニアリテハ軍艦鐵關下流ヲ航行

スルヲ得ズ其近傍ノ壘塞モ皆將ニ之ヲ破壞セントス、

(4) 人種 國民ハ主ニ羅馬人ノ後裔及ビダシア土苗

ノ混同セシモノヨリ成ル其數凡五百四十萬蓋シ羅馬

尼亞人ハ強剛ニシテ性活潑ナラザルモ亦懈怠ニ流レ

ズ唯貧窶ノ民多クシテ國民ノ骨髓タルベキハ實ニ二

三千ノ貴族ニ過ギザルナリ猶太人及ビシプス人亦少

ナカラズ國民多ク希臘教ヲ奉ズ然レドモ何教ヲ信ズ

ルモ一ニ國民ノ自由ニ任スル所タリ、

(5) 政體 現行憲法ハ千八百六十六年ノ制定ニ係ル

モノニシテ之ニ依テ行政權ヲ國王及ビ內閣ニ置キ立

法權ヲ元老院及ビ國會ニ委ヌ、

行政上ワラキアヲ十八縣モルダヴァアヲ十三縣ニ分テ、各縣ニ知事ヲ置ク、

(6) 物産々々、業、民專ラ牧畜及ビ耕耨ヲ事トス、穀物ノ

主要ナルハ玉蜀黍、小麥、大麥及ビ燕麥タリ、農民自ラ粗布ヲ製ス、輸入品ハ唯貴族ノ奢侈ニ充ルノミ、

(7) 首府ヲブカレストト云フ、人口二十二萬二千餘、洪牙利及ビ土耳其ノ貿易此ニ輻湊ス、中央政府及ビ大學此ニアリ、ジャシハ、モルダヴァノ都市ニシテ、人口九萬、フルト河ヲ去ル十哩、丘陵ノ半腹ニ位ス、ガラツハセレト河ガマニウブ河ニ注グ所ニアリ、人口八萬、ダニウブ河委員ノ本局

ヲ置ク所タリ、

羅馬尼亞ノ鐵路ハ千八百六十九年ヲ以テ、始メテ之ヲ布設セシガ、今日ハ線路漸ク延長シ、緊要ノ都市ハ概テ鎮路ヲ以テ連續スルニ至レリ、

第三 スラヴ諸州

波爾汗半島

(1) 波爾汗半島ハ歐洲ノ東南隅ニアリ、十五世紀以來土耳其人ノ占有セシ所タリ、夫土耳其人ハ亞細亞人種ニシテ、宗教及ビ風俗トモ大ニ歐洲人ニ異ナリ、又殖産工業ノ事ニ至リテハ、到底歐洲人ニ伍スルヲ得ズ、以是其人員次第ニ減シ、其勢力日々ニ衰ルノ傾キアリ、於是

廣袤、地勢

乎半島モ漸ク土耳其政府ノ軀ヲ脱シ、實際殆ド獨立國タルノ景狀ヲ呈ス、但波爾汗半島ハ之ヲ亞細亞並ニ亞非利加ニ於ケル土耳其領地ニ比スレバ、極メテ細小ニシテ、其人口モ全土耳其領人口ノ七分一ニ過ギズ、  
 壤地利及ビ羅馬尼亞ノ南ニ位シ、セーヴ並ニダニウブノ中流及ビ下流ヲ以テ界トシ、南ハ希蠟境ニ達セル大地(面積一四七、三六〇方哩)ハ政事上他ノ波爾汗半島諸州ト關係ヲ有スルコト極メテ少シト雖モ、地理上ノ關係ヨリ、暫ク之ヲ波爾汗半島ト共ニ記述シ、後ニ之ヲ別記スベシ、

(2) 廣袤及地勢 此ニ記述スル土地ハ南北四百哩ニ

及ビ、東西五百哩ニ達シ、西ニアドリアテ、ク海並ニイオニアン海ノ諸港ヲ有シ、南ニエギアン及ビマルモラ海ニ臨ミ、東ハ黑海ニ瀕ス、而シテダニウブ河ニ航スレバ、容易ニ内地ニ到ルヲ得、

ダニウブ河ノ南ハ土地次第ニ降起シ、竟ニ半島ノ山溪ニ入ル、此地樹木多ク、雜草繁茂ス、河ノ北岸ハ耕耨盛ニ行ハレ、人口モ亦多シ、ダニウブ河ノ北曲スル所並ニ黑海ノ間高原アリ、「ドアルヤ」ト稱ス、一部ハ雜草之ヲ覆ヒ、一部ハ沼地ニシテ、樹木ナシ、

波爾汗ノ連峰ハダニウブト並行シテ、<sup>アイモンキト</sup>鏡關ヲ繞圍シ、黑海岸ノユミチ<sup>ト</sup>仰ニ達ス、<sup>ロツア、バルン</sup>高サ七、八二六呎ヲ其最

高嶺トス、連峯ハ概テ西岸ト並行シ、別レテ數脈ト成リ、希蠟ニ入ル、其間一大牧地アリ、高サ平均二千呎、此地方ニ著名ナル山峯ハドルシトル(高サ八、一四〇呎)コム山(八、〇三〇呎)スカル、ダグ(高サ一〇、〇〇〇呎)及ビグラムモス山等ナリ、波爾汗連峯ノ南側及ビエギアン海ノ間一大嶽アリ、コドボ山ト稱ス、其峯頂別レテ、數頭ト成リ、七千呎ニ達ス、而シテ半島中ノ最高峯ハムス、アラ山ニシテ、高サ九千五百九十呎、松柏鬱蒼トシテ、唯盛夏ノ節ノミ、頂上ニ雪ヲ見ズ、

高嶺ノエギアン海ニ達スル所、有名ナルカルキス半島アリ、靈山ヲ載ス、高サ六千三百五十呎、此半島ニ對シテ、グリ

川河

ボリ半島アリ、ダルダチルス及ビサロス灣間ニ當リ、南ニ向テ突出ス、右兩半島間ニタツ及ビサモトラキノ兩島アリ、尙進テ南ニ至レバ、シレット(又名カンディア)ノ大島ヲ見ル、島ハ長サ百五十哩、中ニイダ山アリ、高サ八千五百呎、

(3) 川河 西方ノ山嶽高地ヨリアドリアイク海ニ注グ川河ハ、概テ急激ノ細流ニシテ、藉テ以テ水車ヲ轉スルカ、或ハ木材ヲ流下スルノ外用ナシ、マリツアハ源ヲバルカ、連峯及ビロドボ山ノ間ニ發シ、トレス溪ヲ過ギ、ロドボ山下ニ曲流シ、竟ニ海ニ朝ス、河口ヨリ百七十流間航行ノ便アリ、之ヲ南方ノ要河トス、而シテ北方ノ要河ハ前已ニ述ベカル如クダニウブ河トス、

氣候

(六六)

如氏地理教科書

(4) 氣候 波爾汗半島ノ氣候ハ全体ヨリ云ヘバ良好ナリ、然レドモ高原ニアリテハ、東北ノ寒風ヲ受ルヲ以テ、寒氣洵ニ凜々タリ、

北方ノ平原ニハ寒暖ノ差極メテ甚シク、冬嚴冷ニシテ、積雪地ヲ覆フヲ數月、ダニウブ河モ亦氷結ス、陽春四月ニ至ル、五月ハ已ニ熱氣烈シ、六月ハ風雨多シ、河水屢暴漲ス、秋日ハ大氣晴朗ナリ、半島ノ南邊ニ至レバ、氣候溫暖ニシテ橙、橄欖、桑等能ク繁殖ス、アドリアティク海邊ハ冬寒冷ナラズト雖モ、暑氣酷烈ニシテ、殆ド堪ユベカラズマリツァ河ノ南方ニハ降雪頗ル稀ナリ、而シテ波爾汗半島中氣候ノ最も快爽ナルハエギアン海邊ノ地トス、

人種

波爾汗半島事記 (七六)

(5) 人種 波爾汗半島ノ人種ヲ視ルニ、亞細亞人希蠟羅甸人、スラヴン人、セマイト人等氷炭相反スルモノ互ニ集合ス、故ニ其言語ニ至リテモ、亦大ニ異ナル所アリ、人口凡ソ一千萬、土耳其人其五分一ヲ占ム、蓋シ土耳其人ハエギアン海濱、ロドーブ高原、アドリアノブル近傍、黒海ノ海岸等ニ多ク住居ス、

クリミア戰爭後ハ韃靼人多ク黒海岸ニ移住シテ、居ヲ占メタリ、希蠟人ハ其數百二十餘萬、エギアン海邊ヨリコンスタンティノブルニ蔓延ス、此地ニ緊要ノ人民タリ、中央ノ高原ニハ「アルバニア」人アリ、其數百廿五萬餘、希蠟羅甸兩人種ノ後裔タリ、ダニウブ河ノ以南バルカンノ山村ニハ

「ゲルガリア」人アリ、原來蒙古人種ニシテ、七世紀ノ頃此地ニ移住シ、漸ク「スラヴオン」人ト合シテ、其言語風俗ヲ學ビ、今日ハ其數二百五十萬ニ達ス、前陳諸人種ノ外、純然タル「スラヴオン」人アリ、即チ此地ノ土苗ニシテ、別レテ「セルヴニア」人「ヘルツェゴヴニア」人「クロイト」人「モンテネグロ」人等ト爲ル、其數二百萬ニ下ラズ、尙他ニ「シルカシア」人「アルメニア」人「シアシ」人猶太人等アレドモ、其數少ニシテ、別ニ記スルニ足ラズ、

(6) 宗教、波爾汗半島ノ人民ヲ宗教上ヨリ區別スレバ、分レテ回々教徒及ビ基督教徒ト成ル、回々教ハ土耳其人並ニ「ブルガリア」人「アルバニア」人「セルヴニア」人等多ク之ヲ信ズ、基督教ニ兩派アリ、一ハ希臘教ヲ信シ、一ハ

羅馬教ヲ奉ズ、今日ニアリテハ土耳其國ノ人民ニシテ、基督教ヲ奉スルモノ少ナカラズト雖モ、非回々徒ノ壓抑ヲ被リ、慘酷ノ處

教ヲ受ケタルヤ茲ニ年アリ、於是テ歐洲大國ノ基督教ヲ奉ズル政府ハ屢土耳其政府ニ迫リ、其教徒ノ救助ニ盡力セリ、故ニ今ハ其徒大ニ自由ヲ得タリトス、之ヲ昔日ニ徵スルニ基督教信者ハ官吏タルヲ得ズ、損害ノ倍償ヲ請求スルヲ得ズ、又土地ヲ所有スルヲ得ザリキ、而シテ基督教信者ノ農民ノ如キハ收穫三分ノ一ヲ地主ニ拂フベキ義務アリシヲ以テ、政府ニ抵抗シテ、此惡弊ヲ絶ントスルノ念

分劃

(七)

分劃 千八百七十八年以前ニアリテハ、波爾汗半

常ニ止ズ、此時ニ當リ、露國義兵ヲ舉テ、同教ノ民ヲ救フ  
ヲ謀レリ、然レドモ英國政界上ヨリ之ヲ障ケタリ、之節ヲ  
「クリミア」戰爭ノ起リ、シ所以ナリ、「クリミア」戰爭ノ終ルヤ、  
土耳其政府ハ大ニ内政ヲ改良スルノ目的ヲ以テ、其案ヲ  
歐洲ノ大國ニ示シ、歐洲大國モ亦之ヲ賛成セリ、然ルニ其  
議竟ニ行ハレズ、故ニ千八百七十六年歐洲大國ハ委員ヲ  
設ケテ、土政府ヲ改革セント計レリ、而シテ土政此議ヲ容  
レザリシヲ以テ、翌年露土戰端ヲ開キ、露兵土耳其ノ東領  
ヲ蹂躪セリ、其後歐洲ノ大國伯林府ニ會合シ、大ニ波爾汗  
半島ノ狀景ヲ變更スルニ至レリ、

島概ネ土耳其ニ屬セリ、然ルニ千八百七十八年ノ伯林  
條約ニ準據シ、半島ノ分劃並ニ政事上ノ關係大ニ面目  
ヲ改メ、土耳其ハ其領地ノ過半ヲ失ヒ、以前進貢國タリ  
シモノモ更ニ獨立國タルニ至レリ、  
此時ローマニアノ獨立ヲ承認シ、ダニウブ河南ニ更ニプ  
ルガリアナル新國ヲ建設セリ、蓋シブルガリアハダニウ  
ブ河ヨリバルカン山頂ニ亘ルモノニシテ、其領主ハ人民  
之ヲ撰舉シ、土帝歐洲大國ノ賛成ヲ得テ、之ヲ承認スルモ  
ノトス、  
バルカン山ノ南ニ亦東ルメリアナル國ヲ新設セリ、此  
國ハバルカン及ピロドロプノ兩山間ニアリ、東ハ黑海ニ



達シ、マリツツ河領ノ上部ヲ占ム、又曰ク東ルメリアハ土  
 帝カ歐洲大國ノ賛成ヲ得テ、撰任スル所ノ基督教信者ノ  
 支配スルモノトス、セルヴァアハ之ヲ獨立國ト爲シ、其版圖  
 ナ擴メテ、モラヴァ河領ノ上部ニ至ラシメタリ、モンテチ  
 グロモ亦之ヲ獨立國ト爲シ、且大ニ其領地ヲ擴メタリ、ア  
 ドリアテイク沿岸ノスピツアハ、境地利國ニ讓與シ、テサリ並  
 ニエピルスノ一部ハ希臘ニ分與セリ、故ニ土耳其ノ今日  
 直轄スルハアルバニア及ビルミリアノ兩州タルニ過ギ  
 ズトス、

一 世爾維亞國記

(8)

世爾維亞ハ一小山國ニシテ、バルカン及ビイリア

兩山間ニアリ、モラヴァ川茲ニ北流ス、蓋シ世爾維亞ハ  
 十四世紀中一大王國タリシト雖モ、土軍ノ爲メニ蹂躪  
 セラレ、今日ニアリテハ、其面積僅カニ一萬九千方哩ナ  
 リ、千八百廿九年自治ノ權ヲ恢復セシガ、尙舊ニ依リ貢  
 ナ土朝ニ贈レリ、而シテ其純然タル獨立ヲ得シハ、實ニ  
 千八百七十七年トス、

(9) 現今ノ國主ハ曩ニ土耳其軍ヲ破リ、國ノ獨立ヲ恢  
 復セシ謀主ノ後裔タリ、憲法ニ據リ、行政權ヲ君主並ニ  
 内閣ニ委ネ、立法權ハ國會並ニ元老院ニ於テ之ヲ掌握  
 ス、

(10)

國內概チ山村ニシテ、森林牧野ニ富ム、山村ノ民ハ懶

情ニシテ、農ヲ勤メ、然レドモ多ク豕ヲ飼養シテ、之ヲ洪  
牙利ノ市場ニ輸出ス、鑛産ニハ金、銅及ビ亞鉛アリ、石炭ハ  
ダニウフ沿岸ニ産ス、首府ヲベルグラドト云フ、人口二萬  
八千、南北兩國ノ通過貿易上ニ緊要ノ位置ヲ占ム、

二 門的捏具路國記

(11) 門的捏具路ハ又黑山國ト稱ス、世爾維亞ノ西南ニ  
位シ、アドリアテイク海ニ瀕ス、南北凡百哩ニシテ、東西九  
十哩ニ過ギズ、波爾汗半島ノ諸州中土耳其政府ノ軛ヲ  
脱セシハ門的捏具路ヲ以テ嚆矢トス、

(12) 現今ノ君主ハ十七世紀中土政府ノ軛ヲ轉覆セシ法王  
ノ子孫ナリ、人口凡十八萬、別レテ四十族ト成ル、皆兵タル

ノ練磨ヲ受ク、憲法ハ千八百六十八年ニ修正シ、之ニ據リ  
テ行政權ヲ國王ニ委ス、立法權ヲ元老院ニ置ケリ、

三 保斯尼亞及邊爾坼吳維尼亞國記

(13) 波爾汗半島ノ西北ニ一山國アリ、羅馬帝國盛隆ノ  
時ニ當リテ之ヲイリリアノ一部トセシガ該帝國ノ分  
烈スルヤ、此國モ亦屢其所屬ヲ異ニセリ、七世紀以前此  
地方ノ一部ニシテ、保斯尼亞ト稱スルモノ自國王ノ支  
配スル所ト成リ、國王ハ貢ヲ洪牙利ノ朝ニ贈リタリ、千  
五百廿二年土軍之ヲ「オトマン」帝國ニ附シ、十六世紀ノ  
終ニ際シ、士兵復タクローテ「ア」ノ南部ヲ蠶食セリ、而シ  
テ保斯尼亞ノ南隣タル邊爾坼吳維尼亞モ亦竟ニ土耳其

人ノ陷ル所ト成リタリ、土朝ガ保斯尼亞ヲ收ムルヤ世襲君主ノ權ヲ剝ギ、且其收入ヲ掠奪セシヲ以テ、國內常ニ靜謐ナラズ、動モスレバ騷亂起ルノ憂アルヲ絶ヘザリキ、以之千八百七十八年ノ伯林會議ハ、墺地利ノ兵ヲ以テ、保斯尼亞並ニ邊爾圻吳維尼亞ヲ占有セシメ、其治政ヲ永久墺地利政府ニ委ヌルニ決シタリ、

- (14) 國內山林ニ富ミ、溪流ニ水浴々タリ、多ク穀物並ニ果實ヲ産ス、亦野禽魚鼈ニ富ミ、其羊、山羊、豕、蜂蜜ノ如キハ歐洲ニ著名ナリ、鑛産乏シカラズ、然レドモ充分ニ之ヲ開抗スルモノ少ナシ、國民ハ主ニ「スラヴォン」入種ヲ以テ成ル、
- (15) 都市ノ最モ盛大ナルヲセラエボスナト云フ、人口凡

二萬千、商業ノ中央タリ、サラエヴォノ西北ニトラウニツクアリ、緊要ノ壘柵トス、邊爾拆吳維尼亞ノ首府ヲモスラルト云フ、ナレンツ川ニ臨ミ位ス、其橋梁此地ニ壯觀美麗ヲ以テ著名ナリ、

歐洲土耳其

四 貌爾牙利亞及東羅字墨利亞國記

- (1) 伯林條約ニ據リ、貌爾牙利亞並ニ東羅字墨利亞ノ兩大國ハ土帝ノ直轄ヲ免レ、貢進國ト成リ、自治權ヲ享有スルニ至レリ、貌爾牙利亞ハバルカン山ノ北麓ヨリダニウブ河岸ニ達シ、東羅字墨利亞ハ其南腹ヨリマリツ河領ニ跨ル、

(2) 貌爾牙利亞ハ土地豐饒ニシテ、農業盛カンニ行ハル、玉蜀黍並ニ小麥ヲ産シ、ヴァルナ港ニ依テ之ヲ輸出ス、多ク水牛ヲ使用シテ農事ヲ助ク、國民原「フン」族ニ屬スト雖モ、今日ノ風俗言語ハ全ク「ストラヴァン」人ノ風俗言語ニ等シ、

(3) 貌爾牙利亞ニ緊要ノ都市ヲ舉グレハ、ダニウブ川岸ニウイティンアリ、商業盛ナリ、イシケル河邊ニソフアリ、前日土耳其領ノ首府タリキ、オスマ河口ニニコポリスアリ、其西南ハブレウナアリ、千八百七十七年ノ激戰ヲ以テ著名ナリ、其南ニティルノヴァアリ、又ダニウブ沿岸ノルスナハ貿易並ニ製造上重要ノ位地ニ居リ、ヴァルナハ黒海ニ緊要ノ港トス、而シテ貌爾牙利亞ノ鐵道ハ未ダルスナ及

ビヴァルナ間ニ布設セルモノニ限ルナリ、

(4) 新設ブルグリア州ノ憲法ハ貴族ティルノヴァニ集會シテ、議定セシモノナリ、又新政府ハ土朝ニ貢ヲ納メ、且ツ該帝國ノ國債ヲ分擔ス、然レドモ其政府ハ基督教政府ニシテ、亦自國ノ護國兵ヲ有ス、

(5) 東羅字墨利亞ハスリヅノ並ニフリボリスノ兩州ヲ合併シ、之ニアドリアノブルノ一部ヲ加ヘテ建設セシモノニシテ、マリツノ上流ヨリ東ニ廣ガリ、黒海ノ岸ニ達ス、ロドプノ原野ヲ除クノ外、綠樹鬱蒼トシテ、風景良ニ佳ナリ、又バルカン山ノ北側ハ蓋薇香蒸製ヲ以テ著名ナリ、

(6) 國民ハ主ニ「ブルガリア」人ヲ以テ成ル、顯著ノ都市ヲ

舉クレバマリツア上流ニフナリボリスアリ、歴山大王ノ父ノ  
創建セシモノナリ、バルカン山麓ニタザンリジ並ニスリ  
ヅノアリ、共ニ工業及ビ貿易ノ中心タリ、而シテブルガス  
ハ新設國ノ主要ノ海港トス、

(7) 東羅宇墨利亞ハ今日自治國ト成レリ、其君主ハ基督  
教徒ニシテ、土耳其政府カ歐洲大國ノ賛成ヲ得テ撰任ス  
ルモノトス、自國ノ護衛兵アリ、然レドモ土耳其政府險要  
ノ地ヲ占有スルノ權ヲ保有ス、

### 五 土耳其本領記

(1) 門的捏具路、世爾維亞及ビ東羅宇墨利亞ノ境界ヨ  
リ、南エギアン海ニ達シ、東黒海並ニマルモラ海ヨリ、西

### 政 体 記

事門土耳其本領國記 (一八)

オトラント海峽ニ至ルノ間ハ土朝ガ直接ニ支配セル  
波爾汗半島ノ部分タリ、

(2) 政 体、此地方ノ君主ハ即チ土帝ニシテ専ラ擅政ヲ  
行ヒ、「コラン」(回々教ノ經書)ニ違ハザレバ欲スル所トシテ、  
施シ得ザルハナシ、蓋シ此地方ニハ土帝太守ヲ置テ之ヲ  
治ム、太守ハ宗教外政務ノ總裁ニシテ、亦土朝樞密院ノ長  
タリ、寺院ノ長ヲムステイト云フ、其職「コラン」ノ意義ヲ明ニ  
スルニアリ、

(3) 分 割、土耳其全帝國ヲ數縣ニ分テ、亦縣ヲ數州ニ  
區劃ス、歐洲大陸ニ土耳其ノ八縣アリ又クレト島ニ一  
縣ヲ置ク、

(4) 物産、産業、土耳其ハ豐饒ノ邦土ニシテ、天然ノ富  
殆ド無盡藏ノ如シ、然レドモ民懶惰ニシテ、資本乏シク、  
且道路粗惡ナルヲ以テ、富源更ニ開發セラレズ、

全土ノ過半皆耕耨ニ適スト雖モ、僅カニ一小部ヲ耕シテ、  
自國四民ノ必用ニ供スルノミ、然レドモ土地ノ膏腴ナル  
實ニ尋常ナラザルヲ以テ、懶惰ノ農モ尙餘剩ヲ生シ、穀物  
ヲ國外ニ輸出ス、橄欖樹ハ沿海ノ地ニ培養シ、橄欖油ハ專  
ラクレト島ニ製ス、綿花亦同島ノ産物タリ、森林ニハ有要  
ノ木材多ク、熊狼其間ニ出沒ス、民多ク牛馬ヲ飼養ス、羊毛  
ノ産モ亦少ナカラズ、鐵、銅、鉛及ヒ岩鹽等産セザルニ非ズ  
ト雖モ、之ヲ採坑スルモノ殆ドナシトス、

(7)

首府ヲコンスタンテ、ノブルト云フ、火口凡六十萬

(5) 土耳其ノ工業ハ緊要ノモノタラザルモ、亦皆無ニ非  
ズ、即チ羊毛ヲ製シテ、粗布ヲ織ルハ各村ノ皆勤ムル所ニ  
シテ、土耳其絨氈ノ如キハ已ニ世ニ顯着ナリ、又自國産ノ  
麻ヲ以テ、船綱ヲ製ス、絹布ノ製織ハコンスタンテイノブル  
ニ盛ニシテ、小銃並ニ大砲ハボスボラス近傍ニ鑄造ス、加  
之ナラズ歐洲ニ於ケル鞍司、劍鍛冶、理髮者ノ如キハ土耳  
其人ノ専有スル所ト云フモ可ナリ、  
(6) 道路ハ極メテ粗惡ナリ、故ニ多ク馬背ヲ藉リテ貨物  
ヲ運送ス、然ルニ千八百六十五年ヲ以テ鑄道ノ布設ヲ始  
メシヨリ、今ハ其長サ殆ト一千哩ニ達ス、

昔ハ此府ヲビサンテイウムト稱セシガ、コンスタンテン  
帝此ニ都ヲ定メシニ由リ、今日ノ名ヲ來セリ、夫コンス  
タンテイノブルノ位置タルヤ、歐亞兩洲ノ海岸ヲ眼下ニ  
眺メ、又兩海ノ咽喉ヲ占ルヲ以テ、自然貿易ノ繁昌ヲ來  
スナリ、故ニ其名東歐洲ニ高シ、

- サロニカハエギアン海ニアリ、コンスタンテイノブルニ次  
グ大市ニニシテ、穀物、羊毛、絹糸及ビ烟草ハ多ク此港ヨリ  
輸出ス、アドリアノブルハトレス河領ノ商業中心ナリ、プ  
リスレン山下ノプリスレン府ハ歐洲土耳其ニ最モ繁昌  
ナ極ム、
- (8) クレト島ハ面積三千三百二十方哩、島中山峯伏起シ

テ、氣候清快ナリ、橄欖及ビ葡萄ヲ産ス、主市ヲカンディアト  
稱ス、北岸ニアリ、壘ヲ築テ之ヲ守ル、西岸ノカニアハ島中  
ノ最良港タリ、

### 六 歐洲露西亞國記

- (1) 「スラヴオン」人ガ日耳曼帝國ノ版圖内ニ住シ、壤地利  
洪牙利王國ニ多數ヲ占メ、土耳其ノ臣民ト成リテ、波爾  
汗半島ノ西北ニ居リ、又世爾維亞並ニ門的捏具路等ノ  
獨立國ヲ建ルハ前已ニ詳述セシ所ナリ、然レドモ此民  
族ニシテ、能ク歐洲ニ大國ヲ爲シ、復タ他ノ人種ヲ支配  
スルハ獨リ露西亞ニ於テ之ヲ見ルノミ、
- (2) 廣袤地勢 歐洲露西亞ノ廣袤ハ他歐洲諸州ノ版

圖ヲ合併セシモノヨリ尙大ナリ、亦以テ其領地ノ廣大ナルヲ知ルベシ、即チ其面積凡二百萬方哩ニシテ、之ヲ英國ノ面積ニ比スレバ、超過スルヲ四十倍トス、

北洋岸ヨリ南黒海ニ到ルノ間、其距離凡千七百哩、又西ハルテ、海邊ヨリ東ウラル山下ニ達スルニ、里程千四百哩アリ、歐洲露西亞ノ平原如斯ク大ナリト雖モ、之ヲ露帝國全體ノ版圖ニ比スレバ、少シク其四分之一ニ超過スルノミ、(2) 露西亞平原ノ氣候並ニ地勢ハ歐洲總論ノ部ニ於テ、已ニ之ヲ記述セリト雖モ、今再ビ其大勢ヲ述ベンニ、此平原ハ一般ニ低地ニシテ、南ニカウカサスノ連峯アリ、東ニウラル山ヲ構ユ、而シテ平原中千尺以上ニ達スルノ地ハ

ヴォルガ水源ノワルダイ丘アルノミ、又地形ニ由テ平原ヲ劃別スレバ、北洋沿岸ニ氷凍荒芒ノ「トンドン」ラアリ、其南ニフンランドノ确地並ニ高原ノ湖幾多ヲ載スルモノアリ、中央ハ森林及ビ耕地ニシテ多ク、穀物ヲ産シ、之ヲ諸國ニ輸出ス、而シテ尙南ニ到レバ、裏海ノ北岸ヨリ羅馬尼亞地方ニ亘延セル緒地ノ原野アリ、之ヲ「ステッペス」ト稱ス、廣原中亦大河多シ、故ニ内地ノ運漕ニ至リテハ、極メテ便宜ナリト雖モ、其四方ノ海洋即チ北洋、バルテ、海、黒海、裏海等ノ如キハ嚴寒ノ節皆堅氷ノ封鎖スル所タルヲ以テ、露西亞ノ商業之ガ爲メニ損害ヲ受ルヲ蓋シ小少ニ非ザルナリ、



(4) 國民、露西亞ハ廣袤極メテ大ナリト雖モ、人口頗ル稀薄ニシテ、其數七千四百餘萬ニ過ギズ、即チ一方哩ニ凡三十六人トス、故ニ我國一方哩ノ人口ハ凡露國一方哩ノ人口ニ十倍ス、國民五分ノ四ハ「スラヴン」人種ヲ以テ成ル、

露西亞ノ「スラヴン」人ハ分レテ三大群ヲ成ス、第一ハ國ノ中央並ニ北部ニ居ルモノニシテ、大露西亞人ト稱シ、其數凡三千四百五十萬、第二ハ小露西亞人ト稱シ、西南部ニ居ル、其數凡千四百萬、ドン河下流近傍ノ「コサック」人ハ即チ之ニ屬ス、第三ハ白露西亞人ト稱ス、西郡ニ多シ、其數凡九百五十萬、其他「ウズベク」河邊ニハ「ポーランド」人多ク、羅馬尼

亞國境ニハ「ブルガリア」人國民ノ一小部ヲ占ム、「スラヴン」人ニ類似セル「リトヴァニ」人アリ、綠眼ニシテ、麗色ナリ、又其近族タル「レット」人並ニ「シムムド」等ハ「フィン」人ノ血統ヲ交ユルモノニシテ、其數二百五十餘萬ナリ、  
露西亞國中ニ土耳其人亦少ナカラズ、即チ「カザン」並ニ「リミア」ノ韃靼人及ヒ裏海近傍ノ「キルギツ」人ハ此種ニ屬ス、南ウラル山ノ「バシキル」人、「チヌヴァシニ」人等ハ韃靼人ノ「フィン」人ト混シタルモノニシテ、「カルムク」人ハ純然タル蒙古人種ナリ、蓋シ「カルムク」人ハ黑髮黑瞳ニシテ、丈短ク、肩幅廣シ、北洋沿岸ノ原野ニハ矮小ノ「サモイド」人アリ、原來亞細亞人種ニ屬ス、獸獵並ニ馴鹿ノ飼養ヲ以テ生活ノ路トス、

宗教

如氏地理教科書

(〇九)

猶太人ハポーランド並ニ西南地方ニ多ク、又其他ノ外國人ハ獨乙人並ニ、瑞西人ヲ以テ多數ヲ占ムルモノトス、

(5) 宗教、國民多ク露西亞希蠟教ヲ奉ズ、蓋シ此宗派ハ法王ニ最上權アルヲ承認セズ、僧侶ノ獨身ニシテ存スルヲ禁ジ、國語ヲ以テ聖經ヲ研究スルヲ許ス、故ニ其教趣大ニ羅馬教ト異ナリ、

皇帝ハ國教ノ守護者ニシテ、又長老會ノ審判者タリ、露西亞希蠟教徒ニシテ、其宗旨ニ背クモノハ周身寺院ニ閉幽セラルベシ、露西亞希蠟教ノ外尙數派ノ宗旨アリ、即チポーランドニハ羅馬加特力教徒多ク、猶太教徒ハポーランド並ニ西南部ニ蔓延シ、布勒的斯丹德教ハ日耳曼國境ノ

教育

記門歐洲露西亞國記 (一九)

民主ニ之ヲ奉シ、又亞細亞人種ニシテ、黃教或ハ「ラマ」教ヲ信ズルモノ少シトセズ、

(6) 教育、十六世紀ノ終ヨリ、千八百六十一年ニ至ルマデ、露西亞國民ハ過半奴隸ニシテ、或ハ王家ニ屬シ、或ハ一個人ニ養ハレシガ千八百六十三年ヲ以テ奴隸ノ制ヲ廢シタリ、然リト雖モ世態已ニ如斯クナリシヲ以テ、教育ノ進歩セザリシモ亦怪ムニ足ラズ、但近年ニ至リテハ、大ニ其面目ヲ改メタリ、故ニ千八百六十年ノ徵兵中讀書シ得ルモノ百人中二人ニ過ギザリシモ、千八百七十年ノ徵兵ニハ已ニ十一人ノ讀書シ得ルモノヲ得タリ、亦以テ教育進歩ノ一端ヲ窺フベシ、

フキンランドハ露西亞帝國中ニ教育最モ進歩セル所ニシテ、其方法自ラ他州ト異ナリ、又帝國ヲ幾多ノ學區ニ分ツ、即チバルテ、州ニハ蒙斯哥、ドルバト、及ビ聖彼德堡ノ學區アリ、西露西亞ニハヴギルナ並ニワルサウノ學區アリ、西南ニハキーツ、ガルコフ及ビオデサノ學區アリ、東ニハカザン學區アリ、而シテ政府ガ教育ニ使用スルノ金額ハ實ニ巨大ノモノトス、

(7) 露西亞語ハ彼德大帝ノ時、始メテ成文語ト成レリ、此時大露西亞ノ鄉語大ニ勢力ヲ得テ、「斯拉ヴヤン」古語ト全ク分離セリ、蓋シ大露西亞ノ鄉語ハ言語ニ富ムモノニシテ、其純然タルハ蒙斯哥近傍ニ使用スル言語是ナリ、「ポーラ

政體

「ノ」語ハ簡明ニシテ、音調美ナリ、「フキンランド」語ハ韃靼語ニ切類シ、文獻ニ富ム、露西亞政府ノ大ニ使用ヲ獎勵スル所タリ、

(8) 政體 政体ハ君主擅制ニシテ、帝位ハ世襲タリ、治政ヲ四大省ニ委ネ、内閣之ヲ總括ス、

第一省ハ立法、行政並ニ財政ヲ司リ、第二省ハ帝國ノ高等法院タリ、第三省ハ專ラ宗教ノ事ヲ掌リ、第四ハ外交、海陸軍、内務、土木等ノ事務ニ執掌ス、フキンランド大公國ハ半獨立國ニシテ、貴族衆民ノ兩議員ヲ以テ成ル元老院之ヲ治ム、ポーランドノ政府ハ千八百六十八年ヲ以テ露國政府ニ合併セリ、

蒙斯哥ハ人口六十萬二千餘ニシテ、市街ノ模様總テ古風ナリ、聖彼德堡ハ人口六十六萬八千人ヲ有ス、現今ノ帝都ニシテ、王宮公廳其他壯觀ノ家屋皆此ニ輻湊ス、之ヲ譬フルニ蒙斯哥ハ國ノ心臟ニシテ、聖彼德堡ハ國ノ耳目タリ、故ニ外國風ノ露西亞ニ入ルモノハ皆聖彼德堡ヨリス、

(9) 分劃、行政ノ便宜ヲ計リ、全帝國ヲ幾多ノ省、縣及ビ州ニ分劃ス、然レドモ普通世人ノ聞知セル分劃ハ左ノ如シ、

大露西亞 中央及ビ北方ノ地ヲ含有ス、主要ノ都市ハ蒙斯哥及ビトツラ、

小露西亞 西南地方ヲ含有ス、市要ノ都市ハキエフ、

東露西亞 主要ノ都市ハアストラガン、ガザン、サマラ、サラトフ、

南露西亞 黒海沿岸ヲ含有ス、主要ノ都市ハオデサ、ニコラエフ、キセネフ、

西露西亞 ヴォルヒニア、ポロデア、其他舊ポーランド王國ノ部分ヲ含有ス、主要ノ都市ハヴヰルナ、

バルテイク沿岸州 フキンランド並ニリガ沿岸ノ地ヲ含有ス、主要ノ都市ハ聖彼德堡、レヴェル、リグ、

フキンランド大公國 西北ニ位シ、斯漢地那比亞ニ隣ス、主要ノ都市ハウヰボルグ、ヘルシンングフォルス、アボ、

ポーランド 西方ニアリ、日耳曼ニ界ス、主要ノ都市ハワ

ルサウ、

(10) 物産、産業、北洋沿岸ノ荒地、フンランド並ニ西南ノ鹹地ヲ除クノ外ハ、一般ニ穀物ヲ耕作ス、

北方ニハ大麥、燕麥及ビ亞麻等ヲ以テ緊要ノ物産トシ、南方及ビ中央ニハ小麥、葡萄、亞麻並ニ烟草ヲ産ス、中央州ノ南部即チオカ河ノ上流ヨリ、ドニバル河ニ至ルノ間ハ露國ノ穀廩ニシテ、露國ノ麥類三分一ハ此地ヨリ出ヅ、森林ハ全面積ノ十分四ヲ覆歴ス、其樹木ノ種類北方ニハ樅、樺等アリ、中央並ニ南部ニハ檜、楡ノ類多シ、木材ハニールメン及ビウエストトラノ兩川ニ依テ、之ヲバルティク海ニ出シ、白海ニ依テ、之ヲアルカンゲルニ致ス、之即チ歐洲西部諸國ノ需

(11)

工業、露西亞國民ハ七割以上農業ニ従事ス、故ニ

用ニ供給スルモノニシテ、其量極メテ巨大ナリ、南方ノステベスハ露國ノ大牧場ニシテ、此ニ牧養スル羊ノ數四千五百萬、牛馬二千萬頭ニ下ラズ、冢ハ各地ニ飼養スル所ヲリ、馴鹿ハ北地ニ多ク、南方ノ韃靼人ハ駱駝ヲ使用ス、熊、狼、狐、鹿等ヲ獵獲シテ生活ヲ營ムモノ亦少ナカラズ、裏海、アツウ海、黑海並ニ其他ノ大川ニアリテハ漁業盛ナリ、露西亞中、鑛産ニ富饒ナルハウナル山地方ニシテ、白金、黃金、銀、銅、鎮、鉛等皆此地ニ出ヅ、石炭ハドネツ並ニヱイストラノ兩河溪及ビウラル山地方ニ採掘ス、又裏海近傍ノ低地ニハ鹹ヲ産スルヲ夥シ、

貿易

其工業ノ微々タルハ推知スルニ足レリ、而シテ職工ハ多ク農夫ニシテ、冬期農事ノ間ヲ得テ、工業ニ從事スルヲ常例トス、

工場ハ聖彼德堡並ニ蒙斯哥近傍ニ多ク、専ラ綿布及ビ絹布ノ製織ニ從事ス、亞麻紡績及ビ粗麻布ノ製造ハ緊要ノ工業ニシテ、獨リ海港ニ盛ナルノミナラズ、内地ニモ製造場所々ニ散在ス、而シテ其最モ多ク製出スルモノハ帆布及ビ船繩トス、製鑛業ノ最モ緊要ナルハウラル山下ベルムノ製鑛業ニシテ、政府ノ造兵廠ハオネガ湖西岸ノベトロザゾドエキニアリ、

(12)

貿易、歐洲西部ノ諸國へハ露國未製品ヲ輸出シ

テ、該地方ヨリ製造品ヲ輸入ス、而シテ亞細亞ニ對スル貿易上ノ關係ハ全ク前者ニ反對ス、内地ノ大川ハ夏期貨物ヲ海港ニ廻漕スルノ便ヲ與フ、而シテ冬日ハ海港皆堅氷ノ封鎖スル所ト成ル、然レドモ積雪ノ地ヲ覆フヤ、橈ヲ遣ルニ極メテ便ナルヲ以テ、冬間内地ノ物品運輸ハ頗ル頻繁ナリ、

帝國ノ道路ハ修繕宜キヲ得テ、大ニ見ルベキ所アリ、鎮道ハ千八百三十八年始メテ聖彼德堡近傍ニ設布セシヨリ、次第ニ延長シ、今日ニ至リテハ其長サ一萬六千餘哩ニ及ビ、諸州ニ跨達シ、歐洲諸國トノ貿易ハ主ニバルテ、海ノ諸港即チ聖彼德堡、シロンスタッド、リガ(人口一〇三、〇〇〇)

(13)

時衆民四方ヨリ蟻集シテ、諸品ヲ賣買交換ス、

レヴェル、黒海ノ諸港即チオデサ(人口一八五、〇〇〇)タガン  
ログ(ドン河通商ノ咽喉)ロストフ、ベルデアンスク、及ビ白  
海嶺ノアルカンゲルニ依ル、然レドモ亦鎮道ヲ藉リ、日耳  
曼、埃地利等ヲ經テ、貿易スルモノ少シトセズ、シベリアニ  
到ルニハ蒙斯哥ヨリ、ヴェルガ河岸ノカザンヲ過ギ、ウラル  
山中ノエカテリンブルグニ出ヅ、又サマラ、サラトフヲ經  
テオレンブルグニ出ツレバ、南亞細亞ニ連ナル大道アリ、  
比耳西亞トノ貿易ハアストラカン及ビ裏海ニ據テ、之ヲ  
營ム、

年市ノ最モ盛大ナルハ毎年六月十五日ヨリ八月十五日  
迄、ヴェルガ、オカ西川ノ交接地ニ僅セルニシニ、ノウゴロド  
ニ開クモノニシテ、此時比耳西亞、印度、支那等ノ商人凡二  
十萬此地ニ來集シ、茶、生糸、獸皮、毛布等ノ諸品ヲ交換ス、ウ  
ラル山東ノイルピットノ年市ハ二月ヨリ三月ニ涉リ、之ヲ  
開キ、主ニシベリア物産ノ貿易ヲ爲ス、ウクレインノガル  
コフニハ羊毛並ニ馬匹ノ市アリ、此時橋ノ輻湊スルヲハ  
萬ニ過グト云フ、

(14) 歐洲露西亞ニ第一等兵營十九アリ、其最要ノ軍庫ヲ  
聖彼德堡ノ軍庫トス、ニコラエフハ黒海岸ニ於ケル堅硬  
ノ軍港ニシテ、ハグ河口ニアリ、セヴアストポリハ前日黒海

k220.2

如氏地理教科書

(二〇一)

ニ於ケル露國緊要ノ軍港ヲリシガ、千八百五十五年英佛  
ノ兩兵之ヲ破壊シ、其後巴里ノ條約ニ據リ再ビ此ニ軍港  
ヲ築クヲ禁シタリ、

版權登錄

中等  
教育  
如氏地理教科書第三帙第二卷下終

定價金三十五錢

卷之六

明治二十二年十月一日印刷

同 年十月九日出版

講述者  
理學士者

東京府士族

富士谷孝雄

牛込區神樂町二丁目二  
十番地

發行者

東京府平民

內田芳兵衛

日本橋區大傳馬町貳丁  
目拾六番地

印刷人

藏田仙之助

京橋區元數寄屋町四丁  
目貳番地





29  
8  
161

大賣弘書肆

東京日本橋區橫山町二丁目	內田彌兵衛
宮城縣仙臺園分町四丁目	高橋書店
山形縣山形七日町	五十嵐太左衛門
茨城縣水戸上市鼻町貳丁目	川又銀藏
埼玉縣加須町下丁	櫻井尙古堂
石川縣金澤市片町	益知館
愛知縣名古屋市本町三丁目	川瀨代助
西京寺町四條上ノ	田中治兵衛
大阪東區備後町四丁目	吉岡平助
同	梅原龜七
山口縣山口仲市町仲市組	宮川臣吉
熊本縣熊本新二丁目	長崎治郎

